



【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり、創造力、すこやかな体を持ち、
未来を担う 白根こまっ子 ～

令和7年7月14日 No7 文責 保坂 泉(校長)

“暑～い夏の到来です！！”

「梅雨明けはいつになるかなあ。」なんて思っていたら、連日の猛暑が続いています。あっという間に暑～い夏がやってきました。今年の夏も記録的な暑さになりそうです。こう暑くなってきましたと心配なのが熱中症です。学校では、授業途中であっても児童に水分補給をさせることはもちろんのこと、外出時の帽子の着用、エアコンや扇風機の効果的な使用、環境省から出される「暑さ指数」を定期的に点検すると同時に、校内に設置してあるWBGT計で測定し運動の制限をするなどの予防対策を講じているところです。過日、保健だよりでもお知らせしてありますが、睡眠不足等の不規則な生活があると熱中症を引き起こしやすいと言われています。ご家庭におかれましても、児童がこの暑い夏を乗り切れますよう、お子様の健康管理にご協力をお願いいたします。



《第2弾 道徳授業参観(4～6年生)が行われました》

今月3日(木)に行われた4～6年生の道徳授業には、多くの保護者の皆様にご来校いただき児童の学習の様子を参観していただきました。特に5年生においては、県の事業「ほっとネットセミナー」を活用し、山梨県教育委員会社会教育課 武原先生 を講師に招き、情報端末使用に潜む危険をテーマに、危険を回避するための手立てを具体的な例を挙げていただきながら学習を進めました。ご存じのように、SNSを媒介とした生徒指導上の問題が数多く取り立たされているところでもあります。本校では、毎年、スマホ等の所有率が高くなる5年生において、その学習を進めているところです。自分を守ったり友達を守ったりするために、適切な使い方を学びました。学校においても指導をしているところではありますが、その管理にあたってはご家庭にご協力をいただかなければなりません。ぜひ、お子様の情報端末については定期的に点検していただくことをお願いします。

今回も、私もすべての学級の授業を参観したのですが、自分が担任をしていた頃とは違い、一人1台端末を使ってICTを活用した進んだ授業だと感じました。端末にあるアンケート機能を使って、保護者にも参加してもらって学習内容を深めている様子は、時代の流れを感じさせるものでした。予測困難な未来を生き抜いていかなければならない児童たちは、着実に多くの力を身につけています。私たちも、その流れに乗り遅れないようにしていかなければならないと感じた授業参観でした。



5年生



6年生



4年生

～ 多くの方々にお世話になっています ～

学校では、多くの方々にご協力をいた দিয়ে学習活動を進めています。



1年生



2年生



3年生



4年生

校内において教員が指導することもできるのですが、やはり、現地に赴いたりご来校いただいたりして、直接かわる方からのお話は、児童への理解が深まります。また、疑問に思ったこともすぐにご回答いただけるので、途切れることなく学習を進めることもできます。「見て」「聴いて」「触って」学習する体験は、児童の発達段階からみても小学校段階で大切にしなければならぬ学習活動です。特に低学年の段階では、身近な地域の学習が多くあります。地域の方々から直接ご指導いただけることは大変貴重です。今後も、体験活動を重視しながら学習活動を進めてまいります。

[学校運営協議会が発足しました]

前回、「白根飯野小学校は、多くの地域の方々に支えられています。」というお話を掲載いたしました。今年度より学校関係者と地域の方々の代表の方を委員として「学校運営協議会」という組織が発足されました。これまでも「学校評議員会」「学校関係者評価委員会」という、地域の方々からご意見を伺いながら教育活動を見直していくための組織があったのですが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」と山梨県の方針に基づき、それに代わるものとして名称を改めて発足しました。この学校運営協議会制度は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。忌憚のないご意見を頂戴し、白根飯野小学校を特色のあるよりよい学校にできるよう取り組んでまいりたいと思っています。今年度の委員の方々は、飯丘、飯野地区の自治会長会々長様2名、地域の有識者様3名、PTA会長様、学校長の7名で構成されています。委員の方々は、多くの学校行事等に参加していただき、児童の様子や学校環境等をご覧いただいた中で、ご意見を頂戴して改善に取り組めるよう努めてまいります。保護者の方々にも、このような組織があることを承知しておいていただければ幸いです。

【校長の独り言・・・】(前号の「〇〇友(しんゆう)の流れから)」

今、事情があって一人で生活しています。(近いうちに元の生活に戻りますから、心配不要です。)誰からも小言を言われることもなく気楽なのですが、やっぱり寂しさを感じています。「〇〇がいてくれればなあ。」なんて思ったりします。そこで、これから生きていく上で、手放してはいけない人ってどんな人が考えてみました。

①会う理由がなくても、ふと会いたくなる人

特に用事があるわけでもないのに「なんとなく会いたいなあ。」と思う人。自分に安心感と拠り所を与えてくれるのですよね。

②一緒に涙を流して、話を聞いてくれる人

自分の涙に、ただ寄り添ってくれる人。慰めるわけでも、説教するわけでもなく、ただ一緒に泣いてくれるだけで救われます。言葉がなくても「わかってるよ。」と伝えてくれる、そんな優しい人に出会いたいです。

③お互いの失敗を、笑って話し合える人

失敗したことを隠さずに笑って話せる人。「恥ずかしさ」より「信頼」のほうが強いからです。自分を飾らずに素の自分を見せられるので、自分らしくいられます。

④本気で叱ってくれる人

ただ優しいだけでなく、真正面から向き合ってくれる人。信頼と愛情をもって接してくれる人からの言葉は、耳が痛くても素直に受け入れられます。自分を育ててくれているのですよね。

それは家族かもしれませんし、友達かもしれません。

自分にとって手放したくない人が、近くにたくさんいると心強いですよね。